

木更津市消防団だより

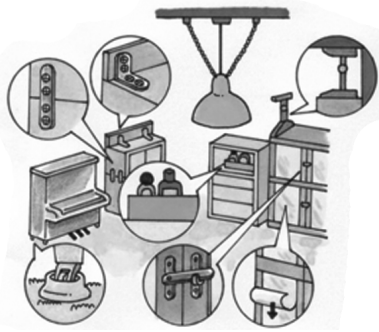


「纏」まとい

2012.4月号

回 覧

発行元
木更津市消防団
TEL 22-0119
(消防総務課)
2012年4月発行
VOL.16



いろいろな転倒防止措置方法

エクトチームが、本年3月7日に「東京湾北部地震」の調査結果を発表し、従来想定されていた30〜40キロの震源の深さが、約20キロと浅くなり、想定されていた震度6強より大きな震度7となる可能性があるといわれます。また、千葉県がまとめた地震被害想定調査結果では、「東京湾北部地震」の県内最大震度を6強と想定し、死者は約1,400人、負傷者4,200人、帰宅困難者108万7,800人、経済被害9兆8千億円とされています。



昨年3月11日、東北、関東など東日本全域を襲った未曾有の震災から、1年がたちました。
文部科学省プロジェクト

防災への意識

自ら考えよう！

首都直下型地震の新たな脅威

地震発生後、的確な対応を行うためには、各自がどれだけ正しい防災知識を持っているかにかかってきます。身の守り方、火を出さない方法や消火の仕方、応急手当の心得などを学ぶとともに、地震・津波に関する基礎知識もきちんと学びましょう。

◎地震に対する10の備え

- ① 家具類の転倒・落下防止対策をしておく
- ② けがの防止対策をしておく
- ③ 家屋や塀の強度を確認しておく
- ④ 消火の備えをしておく
- ⑤ 火災発生の早期発見と防止対策をしておく
- ⑥ 非常用品を備えておく
- ⑦ 家族で話し合っておく
- ⑧ 地域の危険性を把握しておく
- ⑨ 防災知識を身につけておく
- ⑩ 防災行動力を高めておく



◎地震その時10のポイント

- ① 地震だ！まず身の安全
- ② 落ちついて火の元確認初期消火
- ③ あわてた行動けがのもと
- ④ 窓や戸を開け出口を確保
- ⑤ 門や塀には近寄らない
- ⑥ 火災や津波、確かな避難
- ⑦ 正しい情報、確かな行動
- ⑧ 確かめ合おう、わが家の安全、隣の安全
- ⑨ 協力し合って救出・救護
- ⑩ 避難の前に安全確認電気・ガス

◎地震のときの火災

地震のときの火災対策について考えてみましょう。
大地震が原因で発生した火災の場合には普段起こる火災とはいろいろな面の違いがあります。
まず、炎や煙から避難することが非常に困難となってしまう可能性があります。例えば以下のような状況が考えられます。

- 倒壊した家屋や家具の下敷きになり、身動きが取れない
- 落下物等によりケガを負ってしまい、身動きが取れない
- 扉が開かない等、避難ルート確保ができない

実際に、地震発生時の火災は、被災者の命を奪う大きな原因となっています。
地震の揺れを感じたら、何はともあれ！火災を起こさないことを最優先に、細心の注意を払って行動して

ください。

◎電気の復旧が原因で起こる火災(通電火災)

- 通電火災が発生したケースとしては
- 倒れていた電気ストーブに通電して発火
- 倒れていた照明器具が発熱して散乱した紙などに引火
- ガス管が破損し、ガスが噴出していたところに通電し火花が散って引火
- 家屋が崩れ、壊れたコンセントやむき出しになった電線から火花が散って引火
- 壊れた水槽の熱帯魚飼育用ヒーターが発熱して引火

などがあり、阪神・淡路大震災における、原因が判明している火災の六割が、この「通電火災」だったと言われています。この「通電火災」を防ぐためにはどうしたら良いのでしょうか？
それは、電気ブレーカーを落とすことです。

- ・大地震による「停電が起こった時」には、必ず電気ブレーカーを落とす。
- ・避難所等に「避難する場合は、家を出る前に必ず電気ブレーカーを落とす。これを忘れないでください。」

揺れを感じたら
まず落ち着いて
身の安全の確保

平成24年 出初式

1月8日(日)午前8時30分
分から木更津市役所西側駐車で
行われました。



当日は天候に恵まれ、消防団による消防操法演技、早出し放水演技、消防署による高所救助演技が行われました。消防広場では、煙体験コーナー、消防車との撮影会、お絵かきコーナーなど楽しいイベントが開催され子供たちに大人気となりました。



春季消防 演習実施

春の火災シーズンを迎え、激増かつ複雑多様化する災害に対処するため、木更津市消防団地震災害対応マニュアルに基づく参集及び広報訓練後、各部門の連携強化と指揮伝達の緻密化等を目的として、春季消防演習を実施しました。

○演習の内容

平成24年2月19日(日)午前8時55分、東京湾を震源域とする直下型地震が発生し、木更津市内は震度6強の烈震を観測した。その後当地区に津波警報が発令され、海岸線で広報を実施していたが、市内2箇所(太田地区・鎌足地区)で火災が発生したとの想定で訓練を行いました。

○参集訓練

団員は、道路の陥没・寸断等により、徒歩又は自転車等で詰所に集合しました。

○警戒警備訓練

被害調査・情報収集及び広報等に別れ、それぞれの業務を行いました。

○火災出動・中継訓練

太田山付近及び高倉観音付近にて火災が発生し、各部等



は中継体制を確保し、火災防ぎよ活動を行いました。

平成24年度 年間行事予定

- 4月 辞令交付式
- 5月 全団員研修会
- 5月 県消防学校入校研修
- 6月 第51回木更津市消防操法大会
- 7月 第33回君津支部消防操法大会
- 7月 第48回千葉県消防操法大会
- 8月 木更津港まつり花火大会警備
- 11月 第35回早出し放水競技大会
- 11月 木更津市総合防災訓練
- 12月 歳末特別警戒
- 1月 木更津市消防出初式
- 2月 春季消防演習
- 3月 第64回千葉県消防大会

消防団員募集

消防団の活動はいろいろあなたも参加しませんか
大切なひと、自分が育ったまち、そして自分が暮らすまち、そんなかけがえない、大切なひと、まちを守りたい。その思いがあれば、だれでも消防団に参加できます。

阪神・淡路大震災を初め、新潟県中越沖地震そして東日本大震災において、消防団は、避難誘導、消火活動、要救助者の検索、救助活動、給水活動、危険箇所の警戒活動など、幅広い活動に従事しました。特に、日頃の地域に密着した活動の経験を活かして、倒壊家屋から数多くの人々を救出した活躍にはめざましいものがありました。

こうした活動により、地域密着性や大きな要員動力を有する消防団の役割の重要性が再認識されたと思います。

消防団員を募集しています



問い合わせ先
木更津市消防本部消防総務課
☎(22)0119
またはお近くの消防団まで